

平成29年度 本部事務局事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。

平成29年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の直営2施設をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の2園を受託運営するとともに、朝霞市の指定管理者として特別養護老人ホーム「朝光苑」等の管理運営、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

福祉会を取り巻く環境変化に対応

平成29年度は、新しい社会福祉法に適切に対応した法人運営をするべく、定時評議員会の開催及び新理事長をはじめとする新役員の選定を行うとともに、関係規程類の改正等にも努めてまいりました。

職員関係においては、介護報酬改定に伴い、介護等処遇改善手当支給規程を改正して手当の増額を行い、介護職員等に対する処遇の改善を図りました。また、採用活動においては、昨年度から実施している、大学・専門学校への訪問活動（10校）を継続し、関係構築に務めるとともに、各種合同就職説明会への参加（3回）並びに法人ホームページや有料広告等を利用した求人情報の周知活動を積極的に行ったことで、年間で8人の採用をすることができました。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催回数 7回	開催日	決議事項
第140回	4月1日 (書面)	第1号議案 理事長の選定について
第141回	5月19日 (書面)	第1号議案 定時評議員会の開催について
第142回	6月5日	第1号議案 新役員(理事・監事)案について 第2号議案 役員等に対する報酬及び費用弁償の支給に関する規程の一部改正について 第3号議案 みつばすみれ学園障害児等計画支援センター運営規程の一部改正について 第4号議案 南西部地域療育センターの補正予算について 第5号議案 平成28年度決算の承認について
第143回	6月12日 (書面)	第1号議案 理事長の選定について
第144回	9月29日	第1号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について 第2号議案 定款施行細則の改正について 第3号議案 組織規程の一部改正について 第4号議案 専務専決規程の一部改正について 第5号議案 公印規程の一部改正について 第6号議案 文書規程の一部改正について 第7号議案 朝光苑居宅介護支援センター運営規程の一部改正について 第8号議案 朝光苑パソコンファイルサーバー機の入替について

第145回	12月25日	第1号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について 第2号議案 介護等処遇改善手当支給規程の一部改正について
第146回	3月27日	第1号議案 施設長の任免について 第2号議案 経理規程の改正について 第3号議案 臨時職員等取扱規程の改正について 第4号議案 給食業務委託の契約締結について 第5号議案 通所バス運行管理業務及び日常清掃業務委託の契約締結について 第6号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第7号議案 平成29年度補正予算について 第8号議案 平成30年度事業計画について 第9号議案 平成30年度予算について

(2) 定時評議員会

開催回数	開催日	決議事項
1回	6月12日	第1号議案 新役員（理事・監事）の選任について 第2号議案 役員等に対する報酬及び費用弁償の支給に関する規程の一部改正について 第3号議案 平成28年度決算の承認について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催回数	開催日	決議事項
2回	9月29日	評議員の選任について
	12月25日	評議員の選任について

3 監事による監査

開催回数	開催日	内容
3回	6月1日	決算監査 対象：全施設
	1月15日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	1月22日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

4 各種試験

(1) 職員採用試験（平成29年度中の採用者8人）

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
保育士	面接	平成29年12月6日	応募者：1人 採用者：1人
		平成30年3月2日	応募者：1人 採用者：1人
生活支援員	面接	平成30年3月2日	応募者：7人 採用者：2人

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
介護職員	面接	平成29年 4月20日	応募者：1人 採用者：0人
		平成29年 4月21日	応募者：1人 採用者：1人
		平成29年 6月16日	応募者：1人 採用者：0人
		平成29年10月 6日	応募者：1人 採用者：0人
		平成30年 3月 2日	応募者：1人 採用者：1人
看護師	面接	平成29年 9月27日	応募者：1人 採用者：1人
		平成30年 3月 1日	応募者：1人 採用者：1人

(2) 職員昇任試験

試験名	試験内容	試験日	試験結果
主幹級昇任試験	面接	平成30年2月20日	応募者：3人 合格者：1人
主査級昇任試験	面接	平成30年2月19日	応募者：8人 合格者：1人

5 職員数

(平成30年3月31日現在／単位：人)

施設名	理事長 施設長			事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員		看護職員		栄養士	児童発達支援責任者 サビ管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手等			合計	
	正規	正規	パート	正規	パート	正規	パート	正規	正規		パート	正規	パート		
本部事務局	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	0	
みつばすみれ学園	1	1	—	6	14(9.4)	1	—	—	2	8(5.0)	11	22(11.9)			
すずらん	1	1	—	10	17(12.5)	1	2(1.6)	—	1	2(1.3)	14	21(16.3)			
ほんちよう保育園	1	1	—	9	23(15.6)	1	1(1.0)	※2	—	—	12	24(16.6)			
にいくら保育園	1	※1	—	13	20(13.1)	1	—	1	—	—	16	20(13.1)			
朝光苑	1	2	3(3.0)	24	16(12.8)	3	4(3.7)	1	12	1(1.0)	43	24(20.5)			
合計	6	7	3(3.0)	62	90(63.4)	7	7(6.3)	2	15	11 (7.3)	99	111 (78.4)			

※1 ほんちよう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

() は常勤換算の人数

平成29年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

平成29年度事業計画において、以下に示すとおり、運営を行って参りました。

利用状況

療育を希望する児童の受け入れを積極的に行うことに努め、年間の契約児童数は平成28年度の116人から111人と減少しましたが、利用児童の登園日数が昨年度より増加したため、定員に対する利用率は昨年度80.1%から83.4%に増加しました。利用希望の多い2歳児の週3日登園の実施と水木曜日のホッピンググループの利用人数の増加などによるものです。

専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による日々の療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等、専門職による幅広い支援を行いました。中でもOT（作業療法士）の必要性が高く、個別・集団・5歳児を対象とした幅広い支援が生活に活かされました。特に5歳児は就学を見据えて、長期的な取り組みを行った結果、生活力の獲得に繋がりました。

また、職場内研修では児童施設における事故・虐待、ライフステージの支援等をテーマに個人発表の機会を設け、児童発達支援センターとしての資質向上を図りました。

地域支援の強化

近年、低年齢児の受け入れや保育所・幼稚園に在籍する支援が必要な児童の増加、在宅の児童への支援などが継続した課題となっております。当園では、地域のニーズに対応すべく、県からの委託事業「障害児等療育支援事業」を継続実施するほか、「発達障害地域療育支援センター事業（南西部地域療育支援センター）」との連携などを通して、専門性の提供と地域支援の拡充など、地域全体の底上げにも努めて参りました。その結果、「障害児等療育支援事業」では、外来での相談件数などが78件、施設内の療育見学や保育所・幼稚園への職員派遣・情報交換などが109件、在宅児童への職員派遣が12件となり、順当に運営展開をしております。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(2ヶ月1回) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ) 交流保育(朝霞市＝北朝霞保育園・泉水保育園、志木市＝北美保育園)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	
7月	七夕、父親学級
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、園外プール、夏祭り(すずらんと合同開催)
9月	祖父母参観
10月	運動会(宗岡第三小体育館)
11月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会、クリスマス会

1 月	父親学級
2 月	豆まき、発表会
3 月	お別れ会、卒園式

(2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①療育支援連絡会議(朝霞市・志木市・和光市) ②ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ③通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①埼玉県(発達障害者支援体制整備検討委員会)、朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員会議へ出席 ③見学・実習、中学生職業体験(朝霞第一中、朝霞第二中、宗岡中、宗岡二中、志木中)の受入れ ④地域の作品展等へ出展(太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジ作品展等) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

児童在籍状況(契約児童)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	合計
朝霞市	38	38	38	41	43	43	46	47	47	46	45	46	518
志木市	24	24	24	24	24	27	29	29	29	29	29	29	321
和光市	31	31	32	32	32	33	34	35	35	34	34	34	397
合計	93	93	94	97	99	103	109	111	111	109	109	109	1,326
入所者数	11	2	5	1	5	7	3	0	2	0	0	0	36
退所者数	0	2	1	0	1	0	1	1	3	0	0	23	32

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はすずらんととの折半額

—敬称略—

期 日	寄 附 者	金 額
08/18(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円 ※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円 ※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円 ※
	社会福祉法人さくら瑞穂会	2,500円 ※
12/27	栗原友介	500,196円
H30/01/31	第一生命労働組合池袋総合営業職支部	12,000円
合計	6件	529,696円

(2) ボランティアの受入れ

行事	夏祭り／運動会／もちつき会／クリスマス会	11団体140人／個人9人
通年	(保育・製作・付添い児) : 個人(6人)	173人

(3) 見学研修等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	4日	4機関	7人
	学園療育についての見学と体験	24日	22機関	83人
	学園利用児の様子観察	18日	15機関	28人
	次年度就学児・移行児の様子観察	3日	3機関	7人
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	105日	—	132人
	学生の受入(中学生職業体験、卒業論文など)	15日	5機関	21人
派遣	育成保育検討会・審査会	6日	1機関	18人
	育成保育対象児の様子観察	5日	2機関	18人
	フォローグループの援助	12日	1機関	12人
	学園利用児の様子観察・情報交換	31日	18機関	64人

(4) 実習受入れ

- ア 介護等体験実習 4学校 延べ 4人
 イ 社会福祉施設実習 12学校 延べ15人 合計：16学校 延べ19人

5 障害児等療育支援事業実績 (療育相談利用状況)

【事業内容】在宅障害児(者)の地域生活支援。療育相談(電話相談/来園相談)、訪問療育、健診/P T訓練、幼稚園・保育所等との相互支援等(埼玉県受託事業)。

(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	1	0	23	10	0	64	98	71
志木市	3	0	21	4	2	10	40	34
和光市	8	0	13	1	0	27	49	37
新座市	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	4	0	0	8	12	8
合計	12	0	61	15	2	109	199	151
	12		78					

6 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【事業内容】障害者(児)等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援。

(1) 対応件数(初回アセスメント件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝霞市	3	2	4	1	4	3	1	0	1	4	2	2	27
志木市	1	5	3	3	9	6	2	1	5	3	8	4	50
和光市	0	1	0	9	1	2	4	1	1	0	2	0	21
合計	4	8	7	13	14	11	7	2	7	7	12	6	98

(2) 計画案作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案提出	19	23	22	14	32	24	27	20	25	22	29	63	320
本計画提出	26	33	18	21	14	32	24	18	28	21	22	45	302
モニタリング報告書	35	30	24	35	43	31	50	45	53	34	49	82	511

7 南西部地域療育センターの実績

【事業内容】専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）。

(1) 配置専門職：臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

(2) 実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
連絡件数 合計	6	15	18	7	8	18	14	13	8	15	4	22	148
個別療育①	64	70	76	73	44	74	76	83	91	74	88	103	916
結果と方針の説明②	0	1	3	4	6	4	4	8	4	6	8	6	54
①+②	64	71	79	77	50	78	80	91	95	80	96	109	970

平成29年度 すずらん事業報告

1 事業の概要

平成29年度事業計画にあげた事業の目的に基づき、運営に取り組んできました。

利用される施設となる

当所は開設以来、利用希望者の受け入れを積極的に行っており、平成29年度における年間の契約数は60人で利用率は112.9%となり、昨年度の101.1%から11.8%の増加となりました。

この要因としては近年、特別支援学校の卒業後進路に対する生活介護事業の需要が高く、年度当初に7人の新規受け入れを行ったほか、個別送迎の調整、送迎車両の増台及び、柔軟な利用滞在時間延長を実施する等、利用促進の取り組みを行ってきた結果であります。

しかし、日々が定員40人を超す利用状況へと変化した為、集団的把握の機会が多くなり、個別活動や地域外出等が縮小傾向と変容していきました。その背景については職員の欠員期間が長かったことや、既存のカリキュラムが現状にそぐわない面もあったため、支援方法の見直しと職員の資質向上が新年度からの課題となっております。

個別支援及び介護・相談体制の充実

近年の利用者状況として、新規利用者は特別支援学校卒業後に進路先として利用する方が多く、青年層が増加しています。かたや利用年数が長い中高年層の方もおり、年齢層が二極化しています。よって世代毎のニーズが異なるため、個別支援に重点をおき、利用者・保護者へのアセスメントを十分に時間をとった上で、支援内容の見直しを図り、家庭生活にも反映するよう自立や残存機能向上に向けた日常生活動作や、意思疎通がより容易になる為にも施設内での喫茶活動や外出活動において、自ら発声し挨拶を交わす練習や、発語が難しい方も身振り等の、自分なりの表現方法を伸ばすよう促し、他者との関わりを積極的に行う機会をより多くつくれるよう、日々の支援で実践をしてきました。

また、恒常的に介護を要する車椅子利用者、重複障害のある方への機能訓練においては理学療法士からの指導を基に実施し、車椅子座位や下肢装具装着時の良肢位を保てるよう、必要に応じて福祉用具変更の便宜を図るなど調整を行ってきました。

このほか、保護者と施設間連絡会や個別面談を通じての家庭状況、将来ニーズの把握に努め、担当する相談支援専門員の連絡を密接に、情報の共有化を図りました。

今後も利用者・家族の抱える不安材料の軽減に結びつくよう、支援計画の質の向上と、相談援助技術の充実を図って参ります。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、地震・火災避難訓練、身体測定、製作品販売、音楽療法(隔月)、嘱託医診察等/内科・精神科・整形外科 理学療法(週1回)
4月	出発式、歯科検診
6月	検便(腸内細菌検査)
7月	人権フェスティバル参加(朝霞市民会館ゆめばれす) 七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市) 夏祭り(みつばすみれ学園・すずらんの合同開催)
9月	運動会(宗岡第二中学校体育館) 定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)

10月	検便(腸内細菌検査) 合唱団ボランティア すずらん祭り
12月	もちつき大会 クリスマス忘年会
1月	初詣 書き初め
2月	豆まき カラオケ演芸大会
通年	希望制小旅行/年間9回 延べ53人 和光スタジオ(カラオケ)・ラウンドワン朝霞(カラオケ・ゲーム)・ららぽーと富士見(ショッピング)・さくら草公園・高坂こども自然動物公園

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年3回) ⑧衛生委員会 ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会 ⑩医療的ケア委員会
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年3回) ②4市医療職ネットワーク会議(年4回)

3 利用状況

(1) 市別在籍状況(契約利用者数) (月初在籍数:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	合計
朝霞市	16	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	253
志木市	31	31	31	30	30	30	30	30	30	29	29	29	360
和光市	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119
合計	56	63	63	62	62	62	62	61	61	60	60	60	732
入所者数	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
退所者数	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4

(2) 障害程度別内訳 (H29.4月末:人)

療育手帳 所持者	療育手帳 のみの者	身体障害者手帳を併せ持つ者							合計
		1種1級	1種2級	1種4級	2種1級	2種4級	2種5級		
㊤	49	18	18	8	1	1	1	2	31
A	8	7	0	1	0	0	0	0	1
B	3	2	0	0	0	0	0	1	1
無し	3	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	63	27	20	9	1	1	1	3	35

※車椅子使用者23人

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はみつばすみれ学園との折半額 一敬称略一

期日	寄附者	金額
08/18 (夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員協議会	5,000円※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円※
	さくら瑞穂会	2,500円※

09/16 (運動会)	和光ライオンズクラブ	5,000円
10/28 (すずらん祭り)	志木ライオンズクラブ	10,000円
	和光ライオンズクラブ	5,000円
12/27	栗原友介 (嘱託医報酬分)	250,098円
合 計	8 件	287,598円

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施
09/10	朝光苑まつり 作品販売
11/03	すわ緑風園祭り展示(施設紹介と作品展示)
12/01~08	障害者週間：和光市チャレンジド展示
12/09	志木市障害者理解促進事業イベント(施設紹介と作品展示)

(3) 実習生受入れ

産業現場等実習	延べ 40日	3 学校	延べ 40人	所沢おおぞら・和光・和光南特別支援学校
中学生職業体験	延べ 9日	3 学校	延べ 39人	志木中・朝霞一中・朝霞三中
保育士養成実習	延べ 33日	1 学校	延べ 33人	秋草学園短期大学
看護実習	延べ 3日	1 学校	延べ 34人	朝霞准看護学校

(4) 施設見学者(関係機関)

08/01	和光特別支援学校教員研修 3人	08/03	和光特別支援学校教員研修 3人
08/04	志木市インターンシップ 1人	08/07	和光南特別支援学校教員初任者研修 1人
08/08	和光南特別支援学校教員初任者研修 1人	08/22	ゆうき福祉会 3人
30.02/12	まはる児童デイサービス 20人		

(5) ボランティア受入れ

通 年(茶道・組ひも・畑)	個人(6人)	延べ66人	08/18 (夏祭り)	6団体(69人)、個人(7人)	延べ 76人
09/16 (運動会)	個人(6人)	延べ 6人	10/28 (すずらん祭り)	個人(11人)	延べ11人
12/08 (もちつき)	1団体(19人)	延べ 19人	02/09 (カラオケ演芸大会)	個人(2人)	延べ 2人

(6) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

平成29年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

平成29年度事業計画にあげた事業の目標に基づき取り組みました。

年齢層における保育の推進

0歳児、1歳児では、個々の月齢差や生活リズムに合わせた保育を進めるに当たり、安心できる人との関係を築けるよう、職員の顔ぶれを変えずに行ってきました。2歳児は自我の芽生えと共に、気持ちを受け入れる配慮をしてきました。幼児期においては、日常的に年齢クラスを基本に、異年齢の縦割りグループ活動や地域のお年寄りとの交流など、様々な人と関わる経験をしてきました。その中で5歳児については、更に小学校や保育クラブと交流をすることによって、新たな環境への期待や気持ちの不安を少しでも解消し、円滑に移行をしてきました。これらの取り組みから、自分を大切にすることや周りの人の気持ちを知ることなどの育みを各年齢ごとにこれからも取り組んでいきます。

豊かな人間性を育むための三つの取り組み

特徴である三つの取り組みにおいて、音楽表現は、乳児期から身近な楽器により音に親しむことから始め、幼児期では、リズム打ちや音階など友達と共感し楽しく表現することを知り、発表会では楽しく堂々と発表ができました。運動プログラムでは、身体の成長と共にバランスを保つことから、運動感覚をつかむこと等取り組む中で、精神的にも出来ないことに、挑戦する気持ちが芽生え、運動会でも力を発揮することができました。食育は、季節のものを味わい、野菜の栽培や調理保育、保存食作りなど体験し、興味を持ち食べ物を大切にすることや食べる楽しさを感じる事が出来ました。苦手な野菜も園で食べるようになったと、保護者からの報告もあります。

育成保育の推進

育成一時保育は一日3名のお預かりをしていますが、ほとんどの方が同日に重なることもなく希望日に入れるようになってきました。子ども、家族共にの安心できる保育を進めていきます。在園している児童の保育は、ゆるやかな成長において保護者との共通理解のもとで、成長を見守り支援をしてきました。これからも園と家庭の連携のもと、より良い関係を築いていきます。

保護者支援・地域支援

在園の保護者には「保育参加」や行事参加によって、園生活での取り組みなどを理解して頂く事ができました。また、子どもの様子についてもよく分かったと、夫婦で参加する方もいるくらい好評でした。保育を進めるにあたり、家庭に伝わりやすくなったことを実感しています。地域においての園開放事業（あそぼう会）では、園内での親子体験、親子遊びや子育て情報を発信してきましたが、そこから入園を意識した見学の希望も増え取り入れてきました。これからも保育園を知って貰うための見学を積極的に取り入れていきます。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）消防署等立ち合い訓練（火災1回、防犯1回）、誕生会、布団乾燥、市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議）、3～5歳児異年齢グループ活動、園だより、クラスだより、献立表、保健だより
4月	5歳児親子遠足
5月	4歳児親子遠足、全クラス懇談会

対象 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
5歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
合 計	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99

平均利用率	∴ 100.8%	土曜日平均利用者数	∴ 9.3人
-------	----------	-----------	--------

(2) 育成一時保育事業

(単位：人)

人数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	合 計
登 録 人 数	22	20	20	22	22	22	22	24	26	28	28	28	—
利 用 延 人 数	31	17	21	33	46	19	17	22	30	28	30	42	336

平均利用率	∴ 45.9%
-------	---------

平成29年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

平成29年度事業計画にあげた事業の目標に基づいて取り組んできました。

異年齢保育

3歳児以上の園児が4グループ編成での異年齢保育の取り組みを行っていることが、にいくら保育園の特徴として保護者の皆様にも理解されて来たことが感じられる年でした。一例として進級した3歳児の保護者が年度初めの懇談会で異年齢グループ活動への不安を口にすると、年長児を持つ保護者のご自身の経験を踏まえて話をしてくださり職員の説明を保護者が補足してくださって不安が取り除かれることになりました。子どもたちの姿としては年長児が自発的に年少児を手伝う姿や遊び方を教える場面は日常的に見かけられますが、年度末には卒園を控えた年長児が自分たちのやってきたことを次の年長児に伝えている姿を見かけることもありました。課題だった『保育園の取り組みを保護者に理解していただけるよう情報発信する』については、日々の活動の様子を伝える掲示物に写真を取り入れたり、懇談会では日常の様子を撮影したビデオをお見せするなどして丁寧な説明とわかりやすい伝え方を心がけました。特にビデオは保護者から好評でした。個別面談や日々の連絡帳など個別にお伝えする機会も大事に行いました。

食育

食育の取り組みの一環として畑に苗を植え、野菜を育て収穫しました。調理保育では収穫した野菜を使うこともありました。また、調理保育の取り組みの一つとして「だし」について栄養士が話す機会を設けました。「にいくらおやこフェスタ」ではかつお節を削る体験や、だし汁が試飲できるコーナーを設け、「だし」をしっかりとってうす味を心がけることの必要性を保護者にもお伝えしました。3歳児から5歳児が季節に合わせた『梅シロップ』を作り、レシピを掲示したところ「家でも作ってみました」との感想が寄せられました。「もちつき会」は保護者にもお手伝いをお願いし、保護者が楽しみにする行事となっています。

保護者支援・地域支援

在園の保護者に保育園の様子を知っていただく機会である「保育参加」は少しずつ参加者が増え、29年度は延べ人数100人に達しました。グループ活動の様子を見た後、学年活動の日に再度参加される方もいらっしゃいます。お子さんの様子だけでなく保育内容への関心も高くなっていることが感じられました。また地域支援の園開放事業（あそぼう会）は繰り返し参加される方が多く、気軽な相談の場として活用していただいています。入園前の見学希望者にはできるだけ保護者の希望に合わせた受け入れを行い、年間を通して90人の見学者がみえました。

発達に課題を持つ児童への支援

29年度は障がい児保育対象児が3人在園しました。関係機関と協力して個別支援計画を作成して支援しました。担当職員を中心として園全体で支援についての情報を共有して関わりました。障がい児保育対象の児童以外にも、発達に課題を持つ児童については個別支援や、保護者との相談を細やかに行うことを心がけました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）防犯訓練（3回）、消防署等立会訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進会議） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、懇談会（0歳～2歳）、5歳児園外保育
5月	懇談会（3、4、5歳）、園庭で遊ぼう会（1、2歳）、4歳児園外保育
6月	保育園運営委員会
7月	お泊り保育（5歳児）
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児）、学童クラブ交流（新倉） 大規模地震を想定した児童引取り訓練（市内小学校と同日）
9月	世代間交流
10月	運動会、個別面談（4歳児）
11月	にいくらおやこフェスタ、個別面談（1、5歳児）
12月	発表会（3、4、5歳児）、もちつき会、個別面談（0、2歳児）
1月	小学校交流（新倉小学校）、保育園運営委員会、個別面談（3歳児）
2月	懇談会（全クラス）
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）尿検査（11月）、乳児健診（隔月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師）

(3) 地域交流事業

- ・ 園開放 年30回実施・延べ参加親子43組
- ・ ミニ講座（予約制で5回実施） 延べ参加親子38組
- ・ 和光病院交流（4歳児・6回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 和光市 福祉の里交流（5歳児・2回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「ひまわりクラブ」8月を除く月1回）
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

(4) 特別保育事業

- ・ 年末保育（12/29 9人、12/30 9人）
- ・ 親子支援教室「クローバーグループ」年9回 ※インフルエンザ流行時期に1回中止
- ・ 保育参加（5/16～1/31 延べ参加人数100人）

(5) 実習生・ボランティアの受け入れ

- ・ 保育士実習 3校・4人
- ・ 育児支援員実習 4日間・2人
- ・ 裁判所調査官実習 2日間・4人

- ・ 中学生・高校生職業体験学習 18人（市内中学校3校・和光高校）
 - ・ ボランティア 延べ22人（インターンシップ含む）
- ※ 入園前の事前見学 90人

3 利用状況

年間開園日数 293日（内土曜日 49日）

月初日在籍児童数（育成児童／3歳児1人・5歳児2人、1人は8月末退園）（単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月
0歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14
2歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
3歳児	29	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27
4歳児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30
5歳児	31	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30
計	133	132	132	132	132	131	131	131	131	130	128	128

平均利用率	；	104.7%	土曜日平均利用者数	；	21.9人
-------	---	--------	-----------	---	-------

※転居による退園4月1人、8月1人、12月1人、1月2人

平成29年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

平成29年度の事業計画において、以下に示す事業目標を掲げ運営を行いました。

利用される施設となる(利用率の向上)

利用率の状況は、介護老人福祉施設 (目標) 96% (結果) 88.9%、
短期入所生活介護 (目標) 80% (結果) 74.7%、
デイサービスセンター (目標) 85% (結果) 84.5%、
居宅介護センター (目標) 105件/月 (結果) 68件 でした。

介護老人福祉施設(特養)では、待機者の最新情報や新規申込者の実態把握、また、多職種による入所判定会議を取り入れ早期入所を促すことで、利用率は前年度と比較して1.2%増加しましたが、目標とした利用率の達成はできませんでした。この要因としましては、朝光苑が多床室であること、施設の老朽化が進んでいる中で近隣に新しい施設が増加したこと、さらに、平成27年度から特養の入所条件が原則として要介護3以上となり、待機者が減少傾向にあることなどが考えられます。今後も目標利用率向上を目指し、待機者の最新情報の把握やショートステイ利用者の情報をリンクするなど行い利用率向上を目指してまいります。

短期入所生活介護(ショートステイ)では、空床を利用した障害者短期入所を平成29年6月から受入開始するなど施設の有効利用を図った結果、前年度より1%増加しましたが、引き上げた目標利用率を達成することはできませんでした。今後も、空き情報や地域の居宅介護支援センターなど介護関係者への啓発などによりできる限り利用率の向上を目指します。

デイサービスセンターでは、新規利用者獲得に向けたサービスの充実などを図った結果、利用率は前年度と比較して3.1%増加し、目標をほぼクリアいたしました。引き続き、一人ひとりがご家庭にいる時と同じようなくつろげる空間作りを心掛け、当センターでのひとときが生活の糧となるよう真心のこもったサービスを提供してまいります。

居宅介護支援センターでは、介護支援専門員の欠員(3人体制→2人体制)により、目標件数をクリアできませんでした。今後は、できる限り人員の補充を行い、目標件数を達成するよう目指してまいります。

地域包括支援センターでは、新しい総合事業開始による介護予防ケアマネジメント事業をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援サービス体制の整備事業、認知症施策の推進事業、地域ケア会議推進事業など様々な事業を市と連携して推進いたしました。

介護保険制度改正の影響

平成29年4月より新しい介護予防・日常生活総合事業が始まりましたが、地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント事業のケアプラン作成の際に、改正後の新しい総合事業の各種介護サービスをケアプランに反映いたしました。また、デイサービスセンターでは、要支援1・2の方が対象となる、地域支援事業の通所介護相当サービスに移行するなど法改正に適切に対応いたしました。

2 各事業の実施状況

(1) 主な年間事業

入所者・利用者の健康管理に資する事業、季節感を感じてもらえるような行事やレクリエーション活動、また、各種委員会などを実施しました。

区分	介護老人福祉施設(特養)	デイサービス	その他
月例	誕生会、注文買物、店屋物の日、理髪、音	誕生会、PTリハビ	朝光苑運営会議(月1

事業	楽療法、口腔衛生指導(以上は月1回)、 嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、 理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス (年18回)、新入所者ラインカンファレンス(年 12回)、優先入所検討委員会(月1回)、身 体拘束廃止委員会(月1回)、感染症対策委 員会(年4回)、給食委員会(年4回)、痰吸引 安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会 (年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	リ、体重測定、 デイ定例会議(月1 回)、事故防止対策 委員会(年12回)、感 染症対策委員会(年 4回)	回)、衛生委員会(月 1回)、苑だより発行 (年4回)、地域包括 定例会議(月1回)
4月	苑外活動(お花見散歩)、料理クラブ	お花見(新座緑道)	
5月	菖蒲湯、端午の節句、ショッピング、苑外散 歩、民謡演奏会	菖蒲湯、外出レク	苦情解決委員会、一 斉緊急メール訓練
6月	料理クラブ、ピアノ演奏会、ボーイスカウト交 流会、保育園訪問(にいくら・ほんちょう)	梅ジュース作り	全体会議、職員健診 ・ストレスチェック
7月	七夕飾り、ショッピング、上の原町内会夏祭	外出レク、スイカ割り	火災訓練、防犯訓練
8月	彩夏祭花火見学、料理クラブ(すいか割り)		地震訓練
9月	朝光苑まつり(家族参加)、苑外活動(ぶど う狩り)	ブドウ狩り	
10月	料理クラブ、民謡、歯科検診、胸部レントゲ ン撮影、ショッピング、苑外活動(和光樹林公 園・保育園訪問・向陽園祭作品展示)	サンマ焼き	夜間火災避難訓練
11月	苑外活動(サンシャイン水族館)、インフルエン ザ予防接種	外出レク	職員インフルエンザ接 種、緊急メール訓練
12月	年末お楽しみ会(家族参加)、ゆず湯、料理 クラブ、ピアノ演奏会、白百合園交流会	年末お楽しみ会、ゆ ず湯	全体会議、地震訓練
1月	正月遊び、書初め、ウクレレ演奏会	餅つき	
2月	料理クラブ、豆まき	豆まき	
3月	ひな祭り	外出レク	職員腰部健診

(2) 利用状況

朝光苑における、平成30年3月31日現在の各事業の利用状況は以下のとおりです。

①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

(ア) 在籍状況等(単位:人、%)

(定員75人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	70	68	69	70	68	70	71	68	70	72	71	69	—
入所者	1	2	2	1	2	2	1	4	2	2	1	2	22
退所者	3	1	1	3	0	1	4	2	0	3	3	2	23
(内、看取り)	1		1	3			1	1		1		1	9
月別利用率	88.4	87.9	90.8	87.8	90.6	87.4	85.6	86.0	87.9	91.0	92.2	91.1	88.9

※(目標利用率:96%・年間利用率:88.9%)

(イ) 男女別構成

区分	男	女	計
人数 (人)	16	53	69
割合 (%)	23.2	76.8	100

(ウ) 介護度別構成

※平均要介護度： 4.07

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	2	4	11	22	30	69
割合 (%)	2.9	5.8	15.9	31.9	43.5	100

(エ) 年齢別構成

※平均年齢： 85.7 歳

年齢	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数 (人)	3	12	30	21	3	69
割合 (%)	4.3	17.4	43.5	30.5	4.3	100

(オ) 在苑期間別構成

※平均在苑期間： 3年1ヶ月

期間	6ヵ月未満	6ヵ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数 (人)	10	7	20	19	12	0	1	69
割合 (%)	14.5	10.1	29.0	27.5	17.4	0	1.5	100

②短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

(ア) 高齢者・障害者別利用状況等 (単位：人、%)

(定員 14 人)

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		利用者	高齢者短期	35	37	32	34	35	36	40	37	37	41	41
	介護予防	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	2	2	—
	障害者短期	0	0	1	2	2	4	3	3	2	3	4	4	—
延べ人数	高齢者短期	334	299	245	285	248	271	306	295	312	345	312	337	3,589
	介護予防	2	2	2	9	6	2	2	6	1	4	7	4	47
	障害者短期	0	0	2	4	11	15	21	21	20	24	30	31	179
	計	336	301	249	298	265	288	329	322	333	373	349	372	3,815
月別利用率		80.0	69.4	59.3	68.7	61.1	68.6	75.8	76.7	76.7	85.9	89.0	85.7	74.7

※1日平均利用者数：10.5人 (目標：利用率80%・年間利用率：74.7%)

③デイサービスセンター事業

(ア) 利用状況等 (単位：人、%) 開所日/298日

(定員 25 人)

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		利用契約者	64	66	69	70	71	73	75	75	72	71	71	68
内、通所相当サービス		0	1	1	4	6	5	5	8	9	11	11	12	—

延べ利用者数	479	506	553	563	570	574	574	514	499	486	458	518	6,294
内、通所相当サービス	0	6	8	19	31	26	39	45	50	55	55	69	403
月別利用率	79.8	84.3	85.1	86.6	87.7	91.8	88.3	85.7	86.8	81.0	76.3	79.7	84.5

※1日平均利用者数/21.1人（目標：利用率85.0%・平均利用率：84.5%）

④居宅介護支援センター事業

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数	68	70	68	69	65	68	70	69	67	66	64	65	809
介護予防支援件数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	11
認定調査件数	1	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	6

※(目標件数：105件/月・月平均：68件)

⑤地域包括支援センター

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数	130	126	120	124	126	126	126	128	136	136	137	136	1,551
内、介護予防・日常生活総合事業ケアマネジメント	0	2	4	5	7	3	4	14	6	7	4	2	58
二次予防対象者介護予防支援件数	9	0	1	5	0	28	0	0	0	1	0	0	44
住宅改修理由書作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

※介護予防支援件数(目標：120件/月・月平均：129件)

※(新)介護予防・日常生活総合事業ケアマネジメント(目標：35件/年)

(イ) 包括支援センター業務

業務	実績等
総合相談・支援業務	相談業務(9,183件)、地域支え合いネット講座(3回・参加者75人)
権利擁護業務	高齢者虐待研修
包括的・継続的ケアマネジメント業務	ケアマネージャー支援講座(1回)
介護予防ケアマネジメント業務 (第1号介護予防支援事業)	要支援者のケアプラン作成
在宅医療・介護連携推進業務	多職種による地域支援ネットワークの構築、在宅医療・介護連携推進情報交換会(5回)
生活支援体制の整備業務	生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置、地域の民生委員との情報交換(9回)
認知症施策の推進業務	認知症サポーター養成講座(7回・参加者202人)、オレンジカフェ(月1回)、認知症徘徊声かけ訓練(2回・参加者137人)
地域ケア会議	市による第1層地域ケア会議(12回)
一般介護予防事業	朝霞1中体操教室(月1回・延べ参加者273人)

(3) 外部協力・援助等

(ア) ボランティア受け入れ

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス
団体	4団体（虹の会、楽脳体操、しずくの会、すずらん）	1団体（十六酔会）
個人	22人	8人
活動内容等	延べ人数：912人 月平均：71人	延べ人数：88人 月平均：7人
レクリエーション活動	書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、踊り、体操、ギター演奏、ピアノ演奏、傾聴、ウクレレ演奏	書道、踊り、音楽活動、フルート演奏、マジックショー、落語
生活支援活動	シーツ交換、おむつたたみ、洗濯物たたみ、縫い物、車椅子清掃、散歩の付添、行事手伝い	行事手伝い、シーツ交換

(イ) 地域との交流等

交流	上の原町内会盆踊り、朝霞ボーイスカウト慰問、朝霞第1中学校生徒七夕飾り、野田ピアノ、コーラスとフラダンス、向陽園ふれあいの集い作品展、白百合幼稚園クリスマス交流、朝霞マンドリンアンサンブル、朝霞西高校音楽部演奏、栄町保育園、朝霞ひだまりの森保育園、和光市ほんちょう保育園（法人内交流）
体験ボランティア	朝霞市社会福祉協議会ワークキャンプ
職業体験	朝霞第3中学校生徒

(4) 実習生の受入れ

朝霞准看護学校(17人)	東京福祉保育専門学校(1人)	教員特例法介護体験(7人)
教員5年経験者研修(2人)	十文字学園女子大学(4人)	東洋大学(1人)
文京学院大学(1人)	合計 (34人、延べ239日)	

(5) 面会者数

延べ人数	一日平均人数
6,307人	17.3人

(6) 人材育成

研修内容	参加人数
初任者キャリアパス研修	5人
新任職員フォローアップ研修	1人
中堅職員キャリアパス研修	5人
中堅職員フォローアップ研修	4人
チームリーダーキャリアパス研修	1人
管理者キャリアパス研修	1人
施設長資格認定講習課程	1人
計	18人